

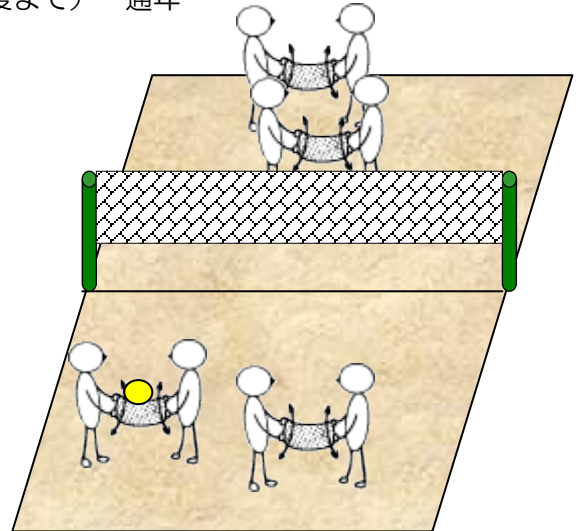
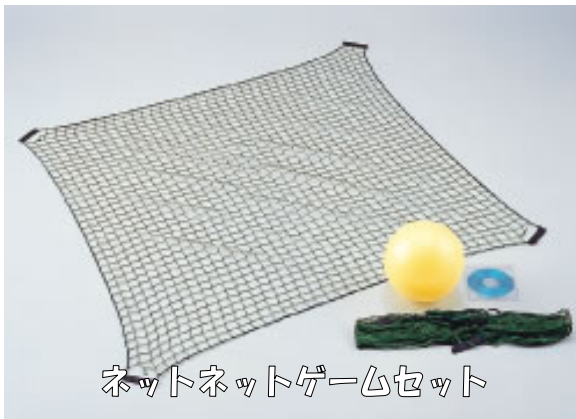
ネットネットゲームの手引き

1 期待される効果

自然・感性	克服・達成	創意・工夫	自主性・協調性	リフレッシュ・体力
		★★	★★★	★★

2 対象及び実施時期 学校団体、自然体験活動団体、企業や子ども会などの団体
小学生以上（32人程度まで） 通年

3 用具・コート



4 プログラムの流れ

準備・説明 20分 道具の受け取り
コート設営（バドミントンコート）
ルール説明

活動 60分

【練習】

レベル1：ボールを真上に上げる。

ボールを中央に置いたネットのハンドルを2人が両手で持ち、「1、2、3」の合図で同時にネットを引っ張り、ボールを飛ばす。

レベル2：ボールを左右に飛ばす。

2人でネットを持ったペア3組が並び、1つのボールを左右にスロー&キャッチする。

【ゲーム】

* 自分のコートから相手のコートへサーブする。

● スローされたボールはノーバウンドまたは、ワンバウンドでキャッチする。

● サーブを2回失敗したとき、返したボールがコートに入らなかった場合は、相手チームに1点が入る。

片づけ 10分

人員・健康状態の確認
道具返却

5 準備物

『交流の家』 ネットネットゲームセット、タイマー、バドミントン支柱・ネット 等

『利用団体』 運動に適した服装、体育館シューズ、笛 等

6 その他の楽しみ方

より高く飛ばす「ハイスローゲーム」、より遠くに飛ばす「フォアスローゲーム」などがあります。

